



▲少しあまりににくい場所です

地域維持型JVについて

地域維持型JVVにて、平成23年12月に、国土交通省から各都道府県主管担当部局長などに宛てて通達が出ています。この建設共同体は、除雪や除染などを想定して

以前、私は市議会一般質問で伊勢若松駅を多機能化することを提案しました。その際、バリアフリーア化と同時に、観光の窓口としてや、建てなおす際に津波避難ビル

く取り組まれるべきものと考えています。今後も、進捗をチェックしながら、関係各所に働きかけていきます。

議案だけでなく議会についても意見交換会という流れでした。定例会の報告では、会場からその後、ご参加頂いた方々との意見交換会での報告と質疑応答

議会報告会が開かれました

では、地震災害への対応や、中学校給食についてなど、われわれに意見を頂き、出席議員でそれぞれ議会の立場という形でお答えさせて頂きました。

- ▶ 減災、自分でリスクを減らしませんか？◀
東日本大震災から2年近く経ちます。津波被害の影響はまだ残り、また、その印象もまだ薄らいでいないかもしれません。しかし、地震そのものに対する備えはいかがでしょうか？タンスにつぶされない備えは？ガラスなどが割れても大丈夫でしょうか？今一度、見直して頂いてはと思います。台風や豪雨に対する自分なりの心の備えも、考えてみることも必要ではないでしょうか。台風の上陸と進路予想から外出を控えるなど、自分でリスクを減らすことは大切だと思います。



江島カルチャーセンターの活用を是非
〈9月〉一般質問 子ども図書館 地域維持型
9月の一般質問では、子ども図書館と地域維持型J-IVについてを取り上げました。

9月の一般質問では、子ども図書館と地域維持型J.V.についてを取り上げました。

子供たちの安心できる居場所としての機能を持つ施設として、活用を図つたことになります。

持管理と水道や下水道工事などを重ね、面の整備として考えると、地域維持型J-Vが活用できるので

今年度、産業建設常任委員会の委員長を務めており、委員会で鉛

メントの取り組みを参考に、鎌
市も早急に取り組むことを伝

点では、送水場や配水池などの更新や耐震工事を優先的に進める予

る経費は約7億から約2億へと大
きく移していますが、新規事業に関す
る経費は約3億から約4億円の幅で推
移しています。

鈴鹿のインカラばどり

産業建設委員会の調査から

文政元年正月

と平成24年予算を比較すると、約

ホームページをご覧ください … <http://www.daisuke-nakanishi.net/>